

若手農家、がんばってます!

豊岡農業スクールの卒業生の取組みを紹介します。本市では人と環境にやさしい環境創造型農業を志す若者を対象に、就農に必要な技能を学ぶ「豊岡農業スクール」を開校しています。認定農業者を研修先(受入農家)とし、生産技術や経営能力を身につけます。2013年4月にスタートし、20年9月末時点で、延べ22人の研修生が入校。これまでに17人が卒業し、市内で就農しています。

本気で農業に取り組む方を応援します!

豊岡農業スクール 2021年度 研修生(第9期生)募集

▼**運営主体** 豊岡市認定農業者連絡協議会

▼**募集人数** 新規就農研修生3人

▼**採用の条件**

- 研修開始日における満年齢が原則50歳以下であること
- 市内在住者または転入者(予定を含む)
- 将来、市内での独立就農または雇用就農を目指し、環境創造型農業に取り組む意欲のある方(親元就農を予定する方は、研修先が親元以外の受入農家であれば対象とします)
- 協議会が定める規定に違反した場合、給付金の全額または一部を返還してもらう場合があります。

▼**研修期間** 2021年4月1日から22年3月31日まで
※更新により最長で24年3月31日まで

▼**採用条件**

- 研修時間 週40時間(1日8時間×5日間)
- 給付金 1人月額100,000円
- 傷害保険等 協議会において加入します。
- その他 給付金については確定申告が必要です。

▼**申込みに必要な書類**

- 豊岡農業スクール研修申請書
- 履歴書
- 障害者の場合は、それを確認できるものの写し(身体障害者手帳など)
- 生年月日が確認できるものの写し(運転免許証、健康保険証など)

▼**研修までのスケジュール**

- ①申込期限 2021年1月29日(金) ※申込書類必着
- ②面接通知 2021年2月上旬
- ③面接 2021年2月中旬
- ④決定通知 2021年2月下旬
- ⑤入校式 2021年4月上旬



土壌分析(座学研修)



実地研修

▼**問合せ・申込先** 農林水産課農政係(市役所本庁舎2階) ☎23-1127

※掲載している情報は編集時点(10月15日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。



まつもとかずのり
松本和憲さん

2020年4月に就農。
ふじのり
藤稔を主力に、約6種
のぶどうを栽培・出荷。
野菜栽培にも挑戦中。

◆豊岡農業スクールで得たものは？

他人の間柄では明かさないのであろう、ぶどうの栽培技術の核心部分を、3年間かけて受入農家から教わりました。木の生命力をコントロールした枝の間引き、粒が密着した形のよい房に仕上げる摘粒などはやり直しができないため、経験とセンスが問われる、緊張感

「豊岡ぶどう」を盛り上げたい

のある作業です。自信をもって出荷できるぶどうを生産できた時の喜びを大事にしていきたいです。

◆これから農業を志す人にむけて

豊岡は半世紀以上の歴史をもつぶどうの産地で、化学肥料と農薬の使用を抑えた、人と環境に優しいぶどうを栽培する技術があります。苗を植えてから出荷できるまでに約5年、つるをはわせる棚の設置などの初期投資も必要ですが、ふるさとの確かな技術に学びながら「豊岡ぶどう」のブランドを盛り上げませんか。



たにやまえつこ
谷山悦子さん
みちひろ
道洋さん

夫婦で但馬牛の繁殖、
子牛の育成・出荷を手
がける。

2016年4月、道洋さんは母牛3頭・子牛1頭で経営開始。悦子さんは約2年間、豊岡農業スクールで学んだ後に就農。

◆豊岡農業スクールで得たものは？

牛の性格や相性を見極める力です。人と牛、親牛と子牛、子牛同士の相性は単純ではありません。受入農家の下で、発情の確認、種付け、出産の世話、牛舎での組合せについて、多様なパターンを経験させてもらいました。飼育頭数は母牛24頭・子牛17頭に増えましたが、子牛の飼養管理の結果は肉質に表れます。

過剰なストレスは好ましくありませんが、ス

褒めてもらえる場所がある

トレスフリーではハングリー精神に欠け、食べるエサの量が減ってしまう。人の子育てにも通じるものがあるように思っています。

◆これから農業を志す人にむけて

但馬牛の繁殖農家の仕事は、自分のところで産まれた子牛を無事に育て、ブランド牛になる姿に思いを寄せながら、せり市に出すことです。時に、過去に出品した牛について、上質のブランド肉に仕上がったと、繁殖農家の力量を褒めてもらうことがあります。喜びであると同時に、牛だけが見られているのではないと、気を引き締める機会にもなっています。



しみずこうじ
清水浩次さん

2019年4月に就農。
水稲を主力に、こごみ、
菊菜、ぶどうの栽培・
出荷を手がける。

◆豊岡農業スクールで得たものは？

力の入れどころと抜きどころのメリハリです。水稲の作付面積が60ヘクタールにおよぶ農業法人の下で、機械設備を利用して身体的な負担を減らしつつ、効率と品質をいかに上げるかという点について、年間の作業を通じて学びました。

私は現在6ヘクタール程の農地を借りていますが、近い将来に離農者が増える中で「作ってほしい」という地域の声に応えられる農業

地域からまかせてもらえる 農業者をめざす

者になりたいです。スクール在学中の経験は、将来、水稲の作付面積が大規模になる時、必ず生きてくると確信しています。

◆これから農業を志す人にむけて

農業は、農地があってはじめて成立します。自分の借りている農地の草刈りや作物の状態の管理はしっかりと、見栄えよくすることが、農業者への信頼に繋がると思っています。先祖から受け継ぐ農地を、無耕作地にすることや、他人にまかせることは辛いことです。「何かあったら頼むで」と言葉だけでも掛けてもらえる関係づくりを大切にしていきたいです。

※掲載している情報は編集時点(10月15日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。